

## 試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：球根ペゴニアの新品種育成			
<p>[要約] 千葉県で、平成16年に育成した登録品種「コーラルファンタジー」(濃桃色)の葉挿し繁殖から花色の異なる変異個体を確認し、花色・花型の優れたペゴニア新品種「クリーミーファンタジー」(淡黄色)と「アプリコットファンタジー」(浅橙色)を育成した。三色揃うことで、生産・消費の拡大が大いに期待できる。</p>			
<p>キーワード<sup>※</sup> ペゴニア、クリーミーファンタジー、アプリコットファンタジー、葉挿し繁殖、変異個体、</p>			
実施機関名	主 査	農業総合研究センター 育種研究所	野菜花き育種研究室
	協力機関		
実施期間	2002年度～2006年度		

### [目的及び背景]

千葉県のペゴニア栽培に使われている品種のほとんどが海外からの登録品種で、種苗費にかかる負担が大きく、早くから県の育成品種が要望されていた。

農業総合研究センターでは、平成16年度に新しいタイプの球根ペゴニア「コーラルファンタジー」を育成した。しかし、生産者や消費者のニーズに応えるためには、他の花色系統の育成が強く要望されていた。今回、育成した二つの新品種は「コーラルファンタジー」の葉挿し繁殖から得られた変異個体を選抜したものである。

### [成果内容]

#### 1 育成経過

平成17年4月に「コーラルファンタジー」の繁殖株から花色の異なった2系統の変異株を確認し、その株を基に繁殖を繰り返し行い、ほぼ固定した系統を同年11月に挿し芽を行い、平成18年2月に特性調査を実施し、選抜・固定をした系統である。選抜した2系統は平成18年6月に出願登録申請を行った。

#### 2 主な特性

- (1) 「コーラルファンタジー」の変異株のため、花色、花弁数にやや差が見られる他は、葉や花の形質は「コーラルファンタジー」とほぼ同様である。
- (2) 花色・花型に優れ、花着きが良く、観賞期間が長い。
- (3) 栄養繁殖が容易にでき、球根ペゴニアの系統としては、新しいタイプである。
- (4) 新規性の認められた「クリーミーファンタジー」は淡黄色、「アプリコットファンタジー」は浅橙色で、「コーラルファンタジー」の濃桃色とは明らかに違いがある(写真1、写真2、写真3)。

### [留意事項]

- 1 葉挿し繁殖で、不定芽が多い場合は、芽数を5～6本に調整し、品質の向上を図る。

2 6月下旬以降の出荷は、特性が十分に発揮されない場合があるので避ける。

[普及対象地域]

県下全域の花き生産者

[行政上の措置]

2006年6月に種苗法に基づく品種登録出願申請

[普及状況]

2006年10月に許諾契約締結後、親株譲渡を行い、2007年春から出荷の予定。

[成果の概要]

表1 開花時の主要な特性

品 種 名	草丈		株張		花梗長		花径長		花弁数		花色	
	cm	cm	横	縦	cm	cm	横	縦	枚	表	裏	
コーラルファンタジー	12.0	18.0	18.0	9.0	7.0	7.0	32~38	0405	0405			
クリーミーファンタジー	13.5	20.0	19.6	8.3	7.2	7.1	33~37	2503	2503			
アプリコットファンタジー	12.5	20.5	21.0	8.5	7.2	7.2	40~42	1302	0703			

※ 花色は日本園芸植物標準色票による。



写真1 「コーラルファンタジー」



写真2 「クリーミーファンタジー」



写真3 「アプリコットファンタジー」

[発表及び関連文献]

千葉県農業総合研究センター 育種研究所 平成17年度試験研究成績書

平成18年度試験研究成果発表会(花植木部門)

[その他]